

ふれあい新聞

(第44号) 平成9年10月1日 一田中野田町内会一

町内ごみステーションの問題点

去る9月6日、町内会役員及びリサイクル推進委員が会合し、町内のごみ問題について意見交換を行った。

町内には8か所のごみステーションがあり（他に数か所の個人アパート専用ステーション）、多くのところで共通した問題は、収集日以外に出す人が跡を絶たず、そのためごみ類が常時ステーションに放置されていることです。これら違反者の中には、地区外者が通行中に乗用車からポイ捨てする場合があります（燃物・不燃物の混在が多い）。

これの対策としては、個人個人の自覚に待つほかはないのですが、とくに違反行為を見つけたら、遠慮なくその場で直接本人に注意することも効果がある。皆んなで協力し合って、住みよい町にしましょう。

一方、資源化ごみの分別収集ステーションは、4か所ありますが、このほうは概ね順調に運営されております。アパート等の居住者で、収集日まで保管するスペースが少ない場合、空き缶やペットボトルなどは潰して減量し、なるべく資源化物とされるよう、ご協力をお願いします。

御南大橋（仮称）の開通予定について

大橋は当初平成8年度に完成する計画で着工されたのですが、ご存知のとおり現在まだ工事中です。ごく最近市役所から得た情報によれば、今年度末（平成10年3月末）には、歩行者と自転車が通行できるようになり、11年3月には全面開通（車両も）の見通しです。なお、全面開通後は現在の通学橋（仮設）は撤去されます。

全面開通になると、町内では自動車の通行量が大幅に増加し、それに伴っていろいろな問題が生じることが予想されます。町内会としては、この大橋は通学路であることをふまえ、交通安全のための条件が十分に整備されるよう、市役所へ要請する予定です。

10月5日（日曜日：8～10時）は秋の一斉清掃日です。

全員のご参加をお願いします。

恒例の“夏まつり”を終えて

第14回夏まつりは、好天に恵まれ予定どおり8月2日（土）に実施しました。年々参加者が多く、たいへん盛会でした（写真）。なお、これの会計報告は礼状を添え8月13日付けで、各世帯に配布しました。

下記2篇の感想文は、出演した小学生から寄せられたものです。

祭り太鼓

岡本 崇志

夏まつりの日に、6年生4人と5年生5人の9名で、祭り太鼓をすることになりました。練習は福祉センター体育館で火・金・日の週3回です。

初めて太鼓をたたく僕と5年生2人は、みんなと離れてバチの持ち方と構え方、拍子のとり方をお父さん達に教えてもらいました。最初は3人の音がなかなかそろいませんでした。だんだんバチも重く感じてきました。2日目からは拍子にも慣れて、どうにかみんなといっしょにたたくようになりました。

太鼓にはタル太鼓と大太鼓があって、タル太鼓の方はみんなでたたくけど、大太鼓は6年生4人で順番にたたくことになり、僕は3人目にたきました。大太鼓はもっと難しかったです。大きなかけ声も出さないといけないし、音楽がないので音の強弱もはっきりつけないといけないからです。4日目ぐらいになると手に豆ができてしまいました。なかなか自分の思うように拍子がとれないので、家で電話帳をたたいて練習したりしました。体育館の中はとても暑かったけれど、みんな1日も休まないで練習をがんばりました。

いよいよ夏まつりの日がやって来ました。僕は緊張しました。みんなも同じだったようです。舞台上上がり、最初の音が鳴ってからは、今まで練習した通りにがんばろうと一生けん命でした。音も合わせることができ、かけ声も大きくでき、自分ではよくできたと思いました。終わった時は本当にホッとしました。山上先生や教えてもらったお父さん方に「よくがんばった」と言われて、うれしかったです。

汗を流しながらがんばった1ヶ月、みんなとも仲良くなれて楽しい思い出ができました。

楽しかった銭だいこ

原 裕美・脇坂 ゆかり

8月2日の夏まつりは、私たちがみんなの前で、銭だいこをする日です。公会堂へ行き、ゆかたを着せてもらっているとき、とてもわくわくしていたし、ドキドキもしていました。銭だいこをする前の人が歌を歌

っていたとき、一人で練習したり見せ合ったりしていました。

いよいよ本番です。一人ずつゆっくり礼をしました。そして始まりました。曲は『二十一世紀おんど』です。みんな練習のときのように上手にできていました。階段をおり、ホッとしました。足がふらふらしていました。また来年もできるといいのと思いました。それからは思うぞんぶん遊びました。とっても楽しい夏まつりでした。

夏まつりは3世代交流の場のひとつでもあり、町内会としては学校を通じ、これまで参加が少なかった中学生にも呼びかけました。その結果多数の中学生が参加し、祭りを盛り上げてくれました。下記は、歌謡ショーに出演の、中学生4名の感想一口メモです。

私達は、本番の4日前に歌う曲を決め、2日前から4人そろって練習しました。練習内容は、曲をかけて歌ったり、ふりつけておどったり、場所移動の練習をしたりしました。初めは、バラバラでそろわなかったけど、みんなで悪い所を教え合ううちに、自分達でもなっとくできるものになっていきました。私にとって、夏休みのよい思い出になりました。

みなさんも来年は、ぜひ歌ってみてください。……（大倉 志帆子）

私達は、本番の1週間前だと言うのに、曲名を決めることができなかったり、かなりあせって不安でしたが、本番ではまんぞくできる最高の思い出となりました。みんなで集まり練習したり考えたり、ふだんはそがしくあまり話しませんが、こういう機会をもとに私は前よりも仲よくなれた気がします。ですから、みなさんもこれを機会に、友情を深めませんか？……（佐藤 舞）

（この項裏面へつづく）



小学校児童有志による銭太鼓